

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

チロシンキナーゼ阻害剤治療を受けた慢性骨髄性白血病患者における長期予後および有害事象に関する探索的研究

【目的】

慢性骨髄性白血病はチロシンキナーゼ阻害剤の導入により、予後が劇的に改善していることが知られています。現在慢性骨髄性白血病に利用可能なチロシンキナーゼ阻害剤は5種類ありますが、どの薬剤にも固有の副作用があります。その程度は患者さん毎に異なり、また発生のメカニズムは明らかではありません。一般的に長期の服薬が必要な治療ですので、長期の有効性および安全性が担保される必要がありますが、本邦における実臨床での長期使用の有効性・安全性のデータは十分に集計されておりません。また、治療により長期間深い寛解を維持し得た患者さんは、チロシンキナーゼ阻害剤を中止後にも無治療で寛解を維持できることが臨床試験で示されました。現在では臨床試験および日常診療でチロシンキナーゼ阻害剤の中断が行われつつありますが、成功率や安全性のデータは不足しています。この研究ではチロシンキナーゼ阻害剤の安全な使用法についての検討を模索することを目的としています。

【対象】

2001年4月から2019年12月までに慢性骨髄性白血病の診断を受け、当院で治療を受けた方

【方法】

診療記録より当院研究担当医師が情報を収集し、調査票へ入力します。入力したデータは研究事務局（日本大学医学部附属板橋病院 血液膠原病内科）へメールにて送付され、研究事務局で保管されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報・画像は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療記録：発症年齢、性別、身体所見、検査所見（血液検査、骨髄検査、生理学的検査、画像検査、病理学的検査、細胞表面マーカー検査、染色体検査、BCR-ABL1 遺伝子定量検査など）、治療内容・治療効果・副作用などの臨床データ 等

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから2024年12月31日まで

【研究代表者】

熊本大学大学院 生命科学研究部 血液・膠原病・感染症内科学 岩永 栄作

【共同研究機関】

熊本大学病院、熊本保健科学大学、埼玉医科大学総合医療センター、済生会横浜市南部病院
順天堂大学医学部附属浦安病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、順天堂大学医学部附属練馬病院
横浜市立市民病院

【当院の研究責任者】

血液内科 仲里 朝周

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町1番1号
電話 045-316-4580（病院代表） 血液内科 仲里 朝周

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。